

卓球競技コーチ3
資格概要

2019.4.01

主催		公益財団法人日本スポーツ協会 財団法人 日本卓球協会	
養成目的		中学・高校・大学・実業団の指導や地域のスポーツクラブを主宰する指導者を養成する。また、各都道府県の競技者育成・発掘にあたる担当者を養成する。また、各都道府県の競技者育成・発掘にあたる担当者を養成する。	
役割		競技者育成プログラムの指針に基づいた指導にあたるとともに、広域エリア内の有望競技者の強化指導にあたる。また、各都道府県連盟(協会)における競技者育成システムの研究開発に参画する。	
養成講習会に係る内容	受講条件	受講年度の4月1日現在満22歳以上で、都道府県卓球連盟(協会)が推薦し、公益財団法人 日本卓球協会が認めた者(免除条件については別途定める)	
	受講科目	共通科目	共通科目Ⅲ(150h)
		専門科目	(60h) ※別紙カリキュラム表参照
	受講料	共通科目	共通科目: 20,000円(税抜)※別途リファレンスブック代: 3,000円(税別)
		専門科目	専門科目: 10,000円(税抜)
	実施方法	共通科目	別に定める共通科目実施要領に基づき日本スポーツ協会が実施する
専門科目		<ul style="list-style-type: none"> ■講習会 ■検定試験 ■審査 ■免除要件 	
登録に係る内容	登録料 (4年間)	基本登録料: 20,000円	
		資格別登録料: 円	
		初期登録手数料(初回登録時のみ): 3,000円	
更新登録要件	資格有効期限の6か月前までに、最低1回は、日本卓球協会が定める研修又は日本スポーツ協会(都道府県スポーツ協会が実施する研修会を含む)が実施する(認める)研修を受けなければならない。		
特記事項		担当委員会: 公益財団法人 日本卓球協会 指導者養成委員会	

公認コーチ 3

2019年4月1日現在

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
① 種目特性に 応じた基礎理論	①	卓球競技の歴史的発展論	1.0 h	1.0 h	2.0 h
	②	卓球の国際的動向	2.0 h	1.0 h	3.0 h
	③	卓球選手のための栄養学	2.0 h	0.0 h	2.0 h
	④	対象に応じた指導内容と指導技術	2.0 h	1.0 h	3.0 h
	⑤	科学的分析によるコーチングの応用	2.0 h	1.0 h	3.0 h
	⑥	卓球競技における安全対策	2.0 h	1.0 h	3.0 h
	⑦	卓球競技のルール・審判法	4.0 h	1.0 h	5.0 h
	⑧	卓球競技におけるメンタルトレーニング	2.0 h	1.0 h	3.0 h
	⑨	スポーツビジョントレーニング	1.0 h	0.0 h	1.0 h
	⑩	コーディネーショントレーニング	1.0 h	0.0 h	1.0 h
	小 計		19.0 h	7.0 h	26.0 h
② 実技	①	卓球競技のための専門的体カトレーニング	2.0 h	1.0 h	3.0 h
	②	応用技術(上級者のための)	4.0 h	1.0 h	5.0 h
	③	練習効果の評価(上級者のための)	1.0 h	1.0 h	2.0 h
	④	多球練習(上級者のための)	2.0 h	1.0 h	3.0 h
	⑤	スポーツマッサージ	2.0 h	0.0 h	2.0 h
	小 計		11.0 h	4.0 h	15.0 h
③ 指導実習	①	個人の指導(シェーク、ペン、表ソフ速攻、カット等)	1.0 h	1.0 h	2.0 h
	②	集団の指導	1.0 h	1.0 h	2.0 h
	③	対象に応じた指導方法(男女ナショナルチーム報告含)	2.0 h	1.0 h	3.0 h
	④	指導計画の立案(原則・適用・個別性等)・実施・評価	4.0 h	4.0 h	8.0 h
	⑤	ベンチコーチの実際	1.0 h	1.0 h	2.0 h
	⑥	競技別1及び2の指導員養成講習会企画・立案	1.0 h	1.0 h	2.0 h
	小 計		10.0 h	9.0 h	19.0 h
			40.0 h	20.0 h	60.0 h